

外観透視図作成のポイント

- ① 周辺建築物等との調和や街並みの連続性について確認する。(周辺建物のボリュームやスカイラインとの調和、壁面位置等の連続性について確認する。)
- ② 公共空間への配慮について確認する。(オープンスペースの確保など、道路など公共空間への配慮について確認する。)
- ③ 周辺建築物等との調和に配慮した形態・意匠・色彩及び外構部分について確認する。(建物等の素材・色彩・凹凸による表情並びに緑化計画の季節感及び緑量感等について確認する。)

【参考事例】



- ④ 様々な方向から、立体的な見え方について確認する。(複数の道路に面する敷地や、周辺に高低差のある地形では、複数の視点場を設定する。軒天井や折り返しの壁面等との仕上げの連続性について確認する。)
- ⑤ 特に、大規模建築物等の計画では、遠景・中景・近景・夜景を考慮した各視点場を設定する。また、緑地や空地など各スペースや各スペースと建築物との連続性を捉えたアイレベルの見え方について、丁寧に確認する。)

【参考事例】

